

長岡市自殺対策計画の 進捗状況について

令和 7 年 7 月 3 1 日
長岡市自殺対策協議会

1 第2次長岡市自殺対策計画

1 計画概要

計画期間	令和6年度（2024年）～令和10年度（2028年）
位置付け	市町村自殺対策計画（自殺対策基本法第13条第2項）
策定体制	自殺対策に関わる各分野の代表者で構成する「長岡市自殺対策協議会」で協議し、計画に反映。重点施策の協議にあたっては、庁外関係機関に聞き取り調査及び庁内関係課の担当者を交えて庁内ワーキングを行い、重点対象の現状・課題等をまとめ、協議会委員に提示。

2 前計画

第1次長岡市自殺対策計画（H31～R5）
平成28年度に改定された自殺対策基本法により、各自治体に自殺対策計画の策定が義務づけられたのを受け策定。

3 長岡市の自殺の現状及び特徴

自殺死亡率は国・県を上回る状況が続いている

- ・自殺者数は、年間50～60人代で推移。例年、男性が女性の約2倍の数値となっている
- ・男性は、40～60歳代の働き盛り層に多く、女性は高齢期に多い
- ・若い世代も一定数おり、10～30歳代の死因の第1位は自殺である
- ・男性・女性ともに有職者よりも無職者の方が自殺死亡率が高い
- ・自殺の原因・動機別割合では、男女ともに健康問題が一番多く、男性では次いで経済・生活問題、女性では家庭問題となっている

4 計画の数値目標

自殺日・住居地基準 資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

指標	第1次計画基準値 平成28年	第1次計画目標値 令和5年	第2次計画目標値 令和9年
自殺死亡率 (人口10万人対)	26.4	18.5	18.5
自殺者数	73人	51人	51人

5 計画体系

【基本理念】誰も自殺に追い込まれることのない長岡へ

基本方針

- (1) 生きることの包括的な支援として推進する
- (2) 関連施策との有機的な連携を強化して総合的に取り組む
- (3) 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させる
- (4) 実践と啓発を両輪として推進する
- (5) 関係機関・団体の役割の明確化と連携・協働により推進する
- (6) 自殺者等の名誉及び生活の平穩に配慮する(新)

基本施策の展開

- (1) 地域におけるネットワークの強化
- (2) 自殺対策を支える人材の育成
- (3) 住民への啓発と周知
- (4) 自殺未遂者等への支援の充実(新)
- (5) 自死遺族等への支援の充実(新)
- (6) SOSの出し方、受け止め方への支援

重点施策の展開

- (1) 高齢者を対象とした取組の推進
- (2) 職域層を対象とした取組の推進
- (3) こども・若者を対象とした取組の推進
- (4) 生活困窮者を対象とした取組の推進(新)

2 令和6年度自殺対策関連146事業 (第2次長岡市自殺対策計画掲載事業) を評価

※(注)複数の機能を持つ事業があるため、計画書の総事業数と合致しない。

《6つの基本施策》

- | | |
|---------------------|---------|
| 1 地域におけるネットワークの強化 | .. 16事業 |
| 2 自殺対策を支える人材の育成 | .. 42事業 |
| 3 住民への啓発と周知 | .. 65事業 |
| 4 自殺未遂者等への支援の充実 | .. 11事業 |
| 5 自死遺族等への支援の充実 | .. 2事業 |
| 6 SOSの出し方、受け止め方への支援 | .. 10事業 |

《4つの重点施策》

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 高齢者を対象とした取組の推進 | .. 13事業 (再掲) |
| 2 職域層を対象とした取組の推進 | .. 22事業 (再掲) |
| 3 こども・若者を対象とした取組の推進 | .. 16事業 (再掲) |
| 4 生活困窮者を対象とした取組の推進 | .. 16事業 (再掲) |

※評価項目数は20項目

※評価項目数は22項目

3 事業達成度一覧 (令和7年3月末)

AA	(100%達成又は完了)
A	(7～9割程度の達成)
B	(4～6割程度の達成)
C	(3割程度以下の達成)
D	(未着手)
E	(取りやめ)
F	(その他)

達成度		AA	A	B	C	D	E	F	計
計	R6	28	108	6	1	1	0	2	146
基本 施策	1 地域におけるネットワークの強化	3	11	0	0	0	0	2	16
	2 自殺対策を支える人材の育成	6	32	3	0	1	0	0	42
	3 住民への啓発と周知	15	46	3	1	0	0	0	65
	4 自殺未遂者等への支援の充実	1	10	0	0	0	0	0	11
	5 自死遺族等への支援の充実	0	2	0	0	0	0	0	2
	6 SOSの出し方、受け止め方への支援	3	7	0	0	0	0	0	10

達成度		AA	A	B	C	D	E	F	計
計	R6	16	58	1	1	0	0	1	77
(重 点 掲 策)	1 高齢者を対象とした取組の推進	3	9	1	0	0	0	0	13
	2 職域層を対象とした取組の推進	6	14	0	1	0	0	1	22
	3 こども・若者を対象とした取組の推進	7	13	0	0	0	0	0	20
	4 生活困窮者を対象とした取組の推進	0	22	0	0	0	0	0	22

相談窓口案内リーフレットについて

1 悩みを抱える方が孤立せず、確実に相談につながるよう 相談窓口案内リーフレットを作成（令和6年度）

- ・「こころの不調」のサインのチェックリスト
- ・こころのセルフケア

についても掲載

2 関係団体214機関（市内内科・整形外科、薬局含む）、 関係課28課に配布（4月現在）

→ 若者向けリーフレットを作成、
大学、専門学校等で配布予定。



SNS等相談連携事業について

令和5年2月 長岡市とNPO法人自殺対策支援センターライフリンクと連携協定締結

1 つなぎ支援事業の実施

ライフリンクが受けた相談について、実際の支援が必要と判断された相談者に対し、相談者の同意を得た上で、長岡市健康増進課の保健師につなぎ、実際の支援を実施する。

2 自殺対策相談窓口の案内カードの配布

自殺のハイリスク者に、ライフリンクが作成した自殺対策相談窓口の案内カード(連携自治体専用相談アカウントカード)を渡し、相談支援につなぐ。

令和5年度に庁外関係機関12団体、庁内の関係課19課に配布(健康増進課分除く)
令和6年度は上記に加え、長岡市内4大学へ説明・配布



#いのち SOS 新潟						
SNS 相談受付時間	日	月	火	水	木	金 土
11時～16時		●		●		● ●
17時～22時	●	●	●		●	●

電話相談も実施しています フリーダイヤル おもい ささ える
“あなたの声”を聞かせて 0120-061-338

自殺ハイリスク者向け専用アカウントのQRコードを印刷した名刺大のカード

実態把握

<令和6年度>

- ・看護職が配置されている企業におけるメンタルヘルスの取組の現状について
(長岡産業保健研修会への出席)
- ・中小企業におけるメンタルヘルスの取組の現状について
- ・医療機関で行っている「リワークプログラム」について
- ・社会保険労務士(新潟県社会保険労務士会長岡支部)との連携について

啓発・周知

- (1) 相談窓口案内リーフレットの作成・配布(令和6年度～)
- (2) 健康経営セミナーにおけるメンタルヘルスに関する情報の周知・啓発
 - ・長岡産業保健研修会
 - ・労基署主催の研修会
 - ・職域での研修

ネットワークの強化

長岡市いのち支える自殺対策連携会議(職域層に対する取組)

日程:令和7年11月11日 午後2時～

長岡市こころの健康づくり講演会と同時実施

自殺対策基本法の改正（令和7年6月11日公布）

- こどもの自殺者数は増加傾向が続いている。令和6年は、529人で過去最多。
10代における死亡原因の第1位が「自殺」であるのは、G7で我が国だけである。
- 極めて深刻な状況に対処するため、こどもに係る自殺対策を推進するための体制整備・措置等について定めている。

健康増進課での取り組み状況

- (1) 市健康増進課版では、児童生徒へのSOSの出し方授業の前に、教職員向けのSOSの受け止め方研修を実施
- (2) 教職員向けのゲートキーパー研修

健康増進課実施学校数

	小学校		中学校	
	受け止め	出し方	受け止め	出し方
R3			2	3
R4	1	1	4	4
R5	3	3	4	4
R6	5	5	2	2

各学校での取り組み状況

小中学校にSOSの出し方・受け止め方の実施状況、実施内容、講師について照会。

〈SOSの出し方に関する教育〉

- ・小学校 R5 55.6%、R6 63.0%実施 R7 73.0%実施予定
- ・中学校 R5 62.9%、R6 74.1%実施 R7 77.8%実施予定

5 第2次自殺対策計画の進捗状況の把握と評価 概要

